

応用哲学会臨時大会 at 京都大学文学研究科 2011年9月23日～25日

参加費 会員（当日入会申込者含む）500円 非会員 1000円

本臨時大会はDo It Yourself方式で開催します。各会場には基本的には会場係がいません。タイムキーピングなどは司会の方にお問い合わせすることとなります。よろしくご協力をおねがいします。

S：短時間発表（質疑込み25分） L：長時間発表（質疑込み50分） W：ワークショップ（2時間）

9月23日

	A会場 第三講義室	B会場 第六講義室	C会場 第七講義室	D会場 第一講義室	E会場 第二講義室
9:30～	受付開始（一階ロビー）				
10:00～12:00		W-1「不確実な状況下での真理と事実認定」 村上祐子 小林泰三 川瀬貴之 立花浩司	W-2「実験家とつくる実験の哲学」 鈴木秀憲 時耕寿弥 長縄直崇 野内玲 井上研	W-3「『集団錯誤の呪縛』からの解放と、その後。」 出口康夫 山口裕幸 唐沢かおり 戸田山和久	W-4「児玉聡『功利と直観』を読む」 鈴木真 奥田太郎 児玉聡
12:00～13:00	昼食 大会実行委員会、理事会（第五講義室）				
L: 13:00～13:50 S: 13:00～13:25	L-1「多元的言語論を基盤にした科学哲学の構想」 中山康雄（司会：塩谷賢）	L-2「非同一性問題の批判的検討」 寺本剛（司会：蔵田伸雄）	L-3「ゲーデルの不完全性定理の証明における背理法の問題点」 中村直行（司会：久木田水生）	L-4「スポーツのエートス再考」 川谷茂樹（司会：斉藤了文）	S-1「『クマのプーさん』における他者理解の研究」 相川隆行（司会：奥田太郎）
S: 13:30～13:55					S-2「日本における「暗黙的年金契約」型の遺産の哲学的解釈」 矢口裕一（司会：奥田太郎）
14:00～14:45	総会 （第三講義室）				
15:00～17:30	シンポジウム「音楽と哲学：表現の限界」 （第三講義室） オーガナイザ 村上祐子・三好博之 提題者 一ノ瀬正樹（哲学） 夏田昌和（作曲） 木ノ脇道元（フルート・作曲） 今井晋（音楽美学）				
18:00～	懇親会 at カンフォーラ（京都大学正門脇） 参加費 4000円				

9月24日					
	A会場 第三講義室	B会場 第六講義室	C会場 第七講義室	D会場 第一講義室	E会場 第二講義室
9:30～	受付開始（一階ロビー）				
10:00～12:30	『応用哲学を学ぶ人のために』合評会 （第三講義室） 評者： 福間聡 高橋久一郎 （司会：横山輝雄）				
12:30～13:30	昼食				
L:13:30～14:20 S:13:30～13:55		L-5「合理的経済人と神経経済学」吉田敬 （司会：伊勢田哲治）	L-6「哲学対話教育の可能性」土屋陽介 （司会：村上祐子）	L-7「エンハンスメント倫理における被贈与性とtelos」高江可奈子 （司会：蔵田伸雄）	S-3 “The Relationship between the Virtual and the Real Self” Iva Georgieva （司会：川口由起子）
S:14:00～14:25					S-4「自己知と他者知の関係について」朴嵩哲・佐藤亮司 （司会：川口由起子）
14:30～16:30	W-5「拡張した心と人工物の存在論」河野哲也 染谷昌義 植原亮 宮原克典	W-6「技術の知識論1：製作・運用・流通における知識」比屋根均 本田康二郎 鈴木俊洋 斉藤了文	W-7「倫理学と心理学(1)」永守伸年 伊勢田哲治 神崎宣次 佐々木拓 山本圭一郎	W-8「哲学と社会学のコラボレーションのために(I)」出口康夫 二瓶真理子 山本耕平 浦野茂 中村和生	
	休憩				
16:45～18:45	W-9「応用哲学会 コモンズ：構想と意見聴取」久保田祐歌 村上祐子 三宅岳史 菊地建至 小城拓理	W-10「技術の知識論2：人工物に宿る知識とは」直江清隆 金光秀和 戸田山和久	W-11「倫理学と心理学(2)」永守伸年 伊勢田哲治 神崎宣次 佐々木拓 山本圭一郎		

9月25日						
	A会場 第三講義室	B会場 第六講義室	C会場 第七講義室	D会場 第一講義室	E会場 第二講義室	
L:9:30~10:20 S:9:30~9:55	L-8「社会構築主義の隠れた社会機能」木原英逸 (司会：吉永明弘)	L-9「ゲームの哲学：コンピューターゲームと物語」山田貴裕 (司会：太田雅子)	S-5「死の価値論的考察」杉本俊介 (司会：江口聡)	L-10「幻覚からの議論について」新川拓哉 (司会：山田圭一)	S-7「現象的意識の連続性と自己」林禅之 (司会：美濃正)	
S:10:00~10:25			S-6「サルルの社会哲学における「約束」の位置づけ」藤井翔太 (司会：蔵田伸雄)			
L:10:30~11:20 S:10:30~10:55	L-11「科学技術のリスク分析をいかに行うべきか」蔵田伸雄 (司会：吉永明弘)	L-12「死刑確定囚におけるその存在の意味と罪・死の関係性」田口了麻 (司会：江口聡)	S-8「ラディカルな身体性認知科学の可能性」佐古仁志 (司会：河野哲也)	L-13「スピノザか、ルイスか、それとも？」山口尚 (司会：小山虎)	S-9「合流論証と結合論証の区別について」副島猛 (司会：美濃正)	
S:11:00~11:25			S-10「ケアリングの倫理学が提示する「自律的でない」人間像」竹中利彦 (司会：河野哲也)			S-11「なぜサヴェジ氏か？」園信太郎 (司会：出口康夫)
11:30~12:30	昼食					
W:12:30~14:30 L:12:30~13:20	W-12「知覚の哲学の最近における展開をめぐって」美濃正 篠原成彦 小草泰 前田高弘	W-13「科学的実在論論争の諸論点を再考する」大西勇喜謙 工藤怜之 野内玲	W-14「言語理論と反証可能性：範疇文法によるアプローチ」矢田部俊介 戸次大介 峯島宏次	L-14「同意と強制：性的な局面に注目して」江口聡 (司会：河野哲也)		
L:13:30~14:20				L-15「「誕生」概念と「誕生肯定」概念の哲学的考察」森岡正博 (司会：品川哲彦)		
	休憩					
14:45~16:45	W-15「クリティカルシンキングの学際的教育実践」伊勢田哲治 鈴木真奈 元吉忠寛 久保田祐歌	W-16「現場からつくる科学哲学」青木滋之 小山虎 井頭昌彦 中尾央	W-17「タイプ理論の現代的意義」久木田水生 伊藤遼 池田真治	W-18「フェミニスト現象学の現状と展開」河野哲也 斉藤瞳 稲原美苗 宮澤由歌		